

壬生町の  
楽しいところがいっぱい

# 知<sup>っ</sup>て<sup>っ</sup>け？ こんなとこ！！

壬生町ガイドマップ



風景



歴史



文化



# 壬生町の紹介

- 栃木県下都賀郡壬生町
- 東京から北に90km、栃木県県央南部、町域61.08km<sup>2</sup>
- 人口 39,502人（平成24年12月末現在）
- 町の中を思川、黒川、姿川と3本の大きな川が流れています。  
地形は広大な平地です。



町の花「ゆうがお」



町の鳥「ひばり」



町の木「えのき」

## 特産品



苺



トマト



ニラ



かんぴょう

この冊子は町民（第4期壬カUPプロジェクト住民会議）が作成しました。  
町民が作った壬生町初のガイドマップです。

私だけが知っている？おすすめスポット！  
町民だからこそ知っている壬生町の穴場スポットを集めました。  
知ってっけ!? こんなとこ!! ～という場所がいっぱいです。



## 目次

- 04 ごあいさつ  
壬生町長・小菅一弥  
第4期壬カUPプロジェクト住民会議会長・大栗正徳
- 05 風景  
行ってみよう 見てみよう
- 13 文化  
歩いてみてよ こんなとこ！
- 19 歴史  
知れば知るほど 好きになる
- 26 おわりに
- 27 第4期壬カUPプロジェクト住民会議メンバー

ごあいさつ



壬生町長

小菅 一弥

私たちの壬生町は、3つの川が流れる豊かな自然、美しい風景と、古墳の時代から脈々とつながる歴史、独自の伝統・文化を育み、誇れる「宝」に恵まれた、壬力(魅力)あふれる町です。

今回、第4期壬力UPプロジェクト住民会議の皆さんが、「壬生のおすすめスポット」を集める取組は、こういった壬生町の素晴らしい「宝」、地域資源を再認識、再発見をする意味で非常に有意義であると考えます。

「町民だからこそ知っている」壬生町への愛にあふれた、今までにないガイドマップとなっておりますので、壬生町民の皆さんはもちろんのこと、町外の方もぜひともご覧ください。



第4期壬力UPプロジェクト住民会議  
会長

大栗 正徳

我々第4期壬力アッププロジェクト住民会議のメンバーは、2年目に入り、「壬生の力・魅力をアップするには……？」を話し合い、「壬生町内に埋もれていて、あまり知られていない壬生の文化遺産・歴史遺産・風景(壬生の宝)を掘り起こして案内することによって壬生の魅力を倍加し、壬生町の仲間の多くに知っていただくと同時に、町外にも発信して壬生の力を高めよう。」という合意の下、「超穴場スポット」を出し合い、ここに「ガイドマップ」としてまとめて紹介しました。

このガイドマップを参考にして壬生町民の皆さんが壬生町の魅力をより強く感じ、町を訪れる町外の皆さんに「壬生の宝」を知って頂ければ幸いです。

風景

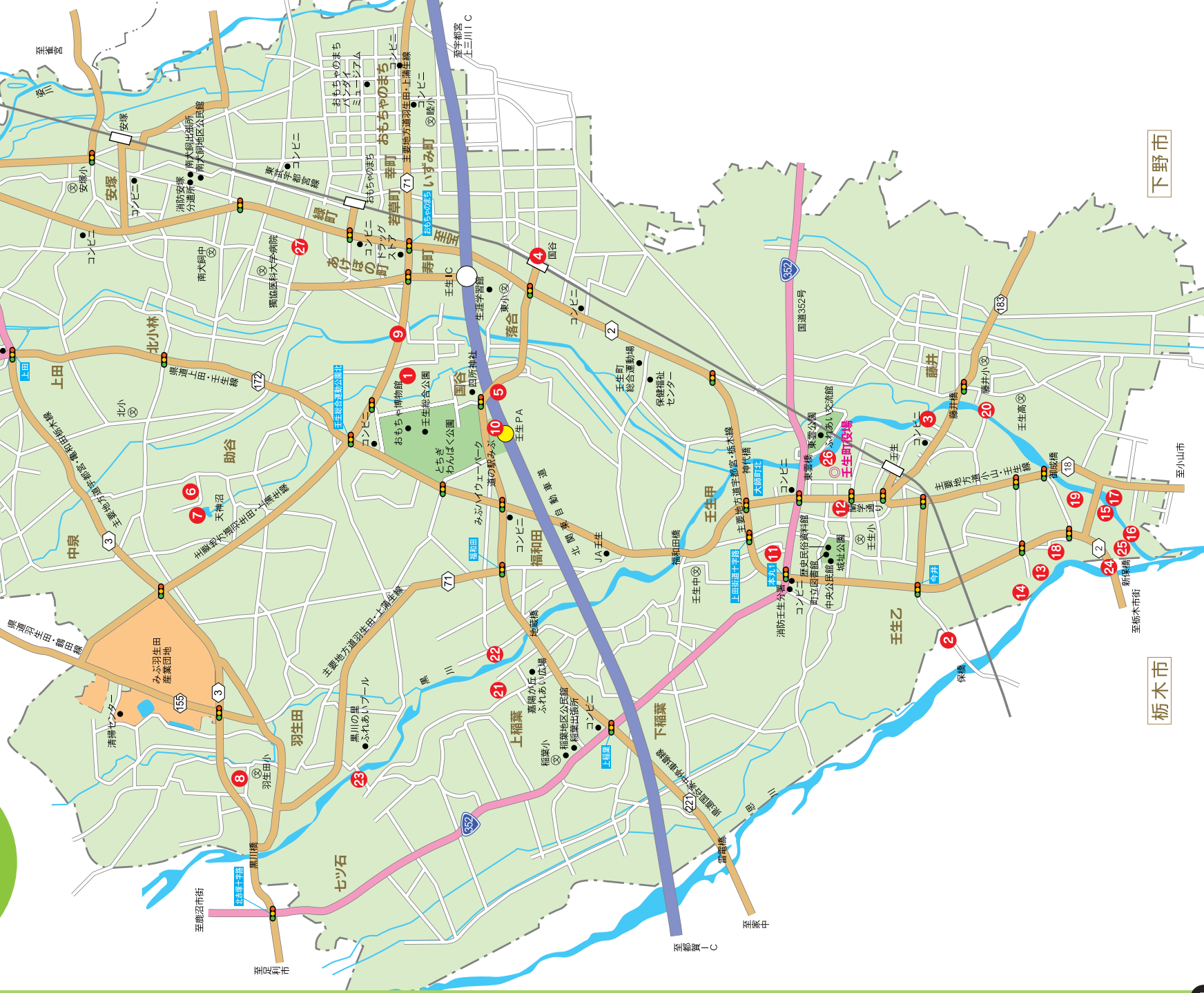
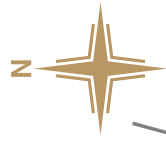


# 風景スポット

鹿沼市

至宇都宮市

宇都宮市



栃木市

下野市

1

## おもちゃ博物館

真照寺から北800Mほど行ったところの町道から望む



農村風景の中に聳えるおもちゃ博物館の尖塔。のんびりとした風景の中におとぎの国を思わせるような尖塔が見えます。

2

## 柳原の保橋からの男体山



冬の澄み切った空気の中に凛として聳える我が故郷の守護神、年に何回しか見られない貴重な風景です。

3

## 黒川土手の菜の花畑



うららかな春の昼下がり。藤井橋上流の土手に菜の花が満開となります。

4

## 国谷駅の桜



昭和6年に開設された国谷駅の桜の木10本は、新緑、満開の桜の花、紅葉の秋、冬の厳しさに耐えて今年で82年になる桜の木です。地域の人々、電車を利用する人々に季節の移り変わりを感じさせてくれます。東武宇都宮線では国谷駅だけが桜並木のある駅です。



5

## 北関東道の一風景



四所神社の南、国谷橋からの眺め。町を東西に走る高速道路。平成23年3月に全道開通。陸橋から眺められる唯一の所です。

6

## 長谷川宅の枝垂れ桜



天神沼の近くに大きな庭を持つ長谷川宅があります。その庭の周りに植えられた20本以上の枝垂れ桜は、ソメイヨシノより色が濃く花が多いので満開時は足元から空までが桜で覆われています。

7

## 天神沼の自噴水



20年前までは釣をする人で賑わったというが、今は人陰もありません。と、突然西の隅の方で「ポコポコ、ポッコン」と大きな音と共に直径1mほどの湧水が噴出し、30秒ほどで消えてしまいました。周りの保有林が蓄えた雨水がこの沼に湧き上がっているそうです。

8

## 歓喜院のカヤ



楼門のそばに目通周囲が5.8m(径1.85m)もある大きなカヤの木があります。種子は絞ってカヤ油をとり、薬用・塗料・灯明用に使われたそうですが、夏はそのオリーブのような実が、木の枝や木の下面に敷き詰められています。

9

壬生町総合公園(わんぱく公園)  
東側新清水大橋より見える田園風景

水もおいしく、おいしいお米、野菜、くだものがたくさん採れる壬生町。おすすめは、初夏に広がる水田の稲の緑一面の景色です。この大好きな色を永遠に伝えたいと思います。

10

壬生町ハイウェーパーク  
東屋より道の駅を望む

北関東道より下りて駐車し、壬生町総合公園やわんぱく公園を散歩してきてもよし。道の駅でお土産や野菜、食事をしてよし。友人達とお散歩かたがた、おにぎりをいただきながら、あずまやにておしゃべりに花を咲かせてみてはいかがでしょうか。

11

## 壬生寺のいちよう



壬生寺には目通周囲5.5m(径1.75m)の銀杏の木があります。幹の太さでは歓喜院のカヤの木(5.8m)に劣りますが、銀杏の木としては町一番ではないでしょうか。

## 12 蘭学通りの街並み



壬生駅西口より、西へ蘭学通りを散策しながらくと、町民の描いた絵画や作品等が展示してある自成館に着きます。そこで休憩しながら作品を見たり、南側の歴史ある建物を見たりで、しばしの間、今昔を楽しんでみてはいかがでしょうか。

## 13 思川の土手散歩道



表町の思川の土手は約1Kmにわたって砂利道が続き四方が全て見渡せます。北には那須岳や日光連山、西に太平山、東に筑波山。そして南には時に富士山が見えます。

## 14 思川の草もみじ



表町の思川は河川敷が広く、川原の他いろいろな植物の群生が見られます。特に秋はススキの白を初め、赤や黄色の草もみじが川と空の青色とコラボし、夏の緑一色とは全く違う景色を見せてくれます。

10

## 15 飯塚堰の紅葉



小山街道の林も秋になると色が変わり、紅葉というより枯葉に近い色です。しかし大平山から注ぐ夕陽を浴びると、水面にも映り見事な紅葉景色を味わうことができます。一変して見えるところがまだまだありそうですね。

## 16 思川の大白鳥・小白鳥



黒川と思川が合流するあたりに、毎年2月の初め頃、大白鳥が舞い降ります。そして中頃には小白鳥の番がやってきて2週間ほど滞在しています。特に飯塚堰上流では白鷺や鴨の群れも常駐しており、水鳥の楽園を見せてくれます。

## 17 平館宅のバラ庭園



小山街道から見える平館宅の庭には、裏庭を合わせて250種300本のバラが植えられています。真冬を除き一年中花が咲いていますが、特に5月末から6月初めのピーク時にはバラの花と香りに包まれた楽園となります。

## 18 表町運動公園の八重桜



下表町の運動公園には3種類80本の桜の木が植えられており、満開時期が異なるため他より長期間花見を楽しむことができます。中でも半数を占める八重桜は公園の中央に桜のトンネルを造り、散り時期はピンクのじゅうたんが敷かれたようになります。

## 19 大型ソーラー発電



壬生町で民間が最初に設置した電気売るためのソーラー発電で、現在も4面がパネル稼働しています。

## 20 黒川の土手にヤギの群れ



壬生高の裏手を通る黒川の土手に、朝夕ヤギの群れが見れます。多い時は20頭以上いましたが、最近は10頭程です。川まで柵がないので、一見野生のヤギのように見えます。

## 21 嘉陽が丘の里山



### 高尾神社に向かう散策道

木立に囲まれて夏は避暑に最適。お羽黒とんぼ、赤とんぼ、塩辛とんぼに出会うことも出来ます。また、散策道の両側には古墳が点在しています。

## 22 根裂神社から見る風景(鯉沼)



西の方向に広がる田園風景。晴天の日には男体山とその連山が一望出来ます。その眺めの中、人家は一軒もありません。

## 23 黒川の一風景 羽生田学校橋



ふれあいプールの直ぐ西の黒川に通称「羽生田学校橋」という鉄骨と木の厚板でつくった橋がかかっています。長さ156m。浅瀬で河原もあり四季を通じてよい風景の所です。

11

24

## 惣社今井バイパス 新保橋からの思川の眺め



この辺りは、川幅がかなり広がっています。川の向こうには、町の西部一帯が広がっており、晴れた日には彼方に、山々がくっきりと見えます。

25

## 黒川が思川に合流する所 新保橋



思川にかかる惣社今井バイパスの新保橋からの眺めです。橋から数百m位東に黒川が思川にそそぐ合流地点があり、両岸に背の高い草が生い茂っています。

26

## しのめ 東雲公園の日の出



秋の早朝(日の出時刻)、さくら橋(吊橋)の中央に上る旭日を望む風景です。水面に反射する光と、紫色に染められた空、清々しい空気をむねいっばいに!! その日1日が元気に過ごせるでしょう。

27

## 獨協医科大学 いちよう並木

秋空の下、小金色に輝くいちよう並木。1kmほど競い合うかのように3列に並行して植えられています。その空間に入ると現代のパワースポットにも感じられます。どんな方でも、この並木道を通り抜けた後は新たなすばらしい自分を発見できるでしょう。

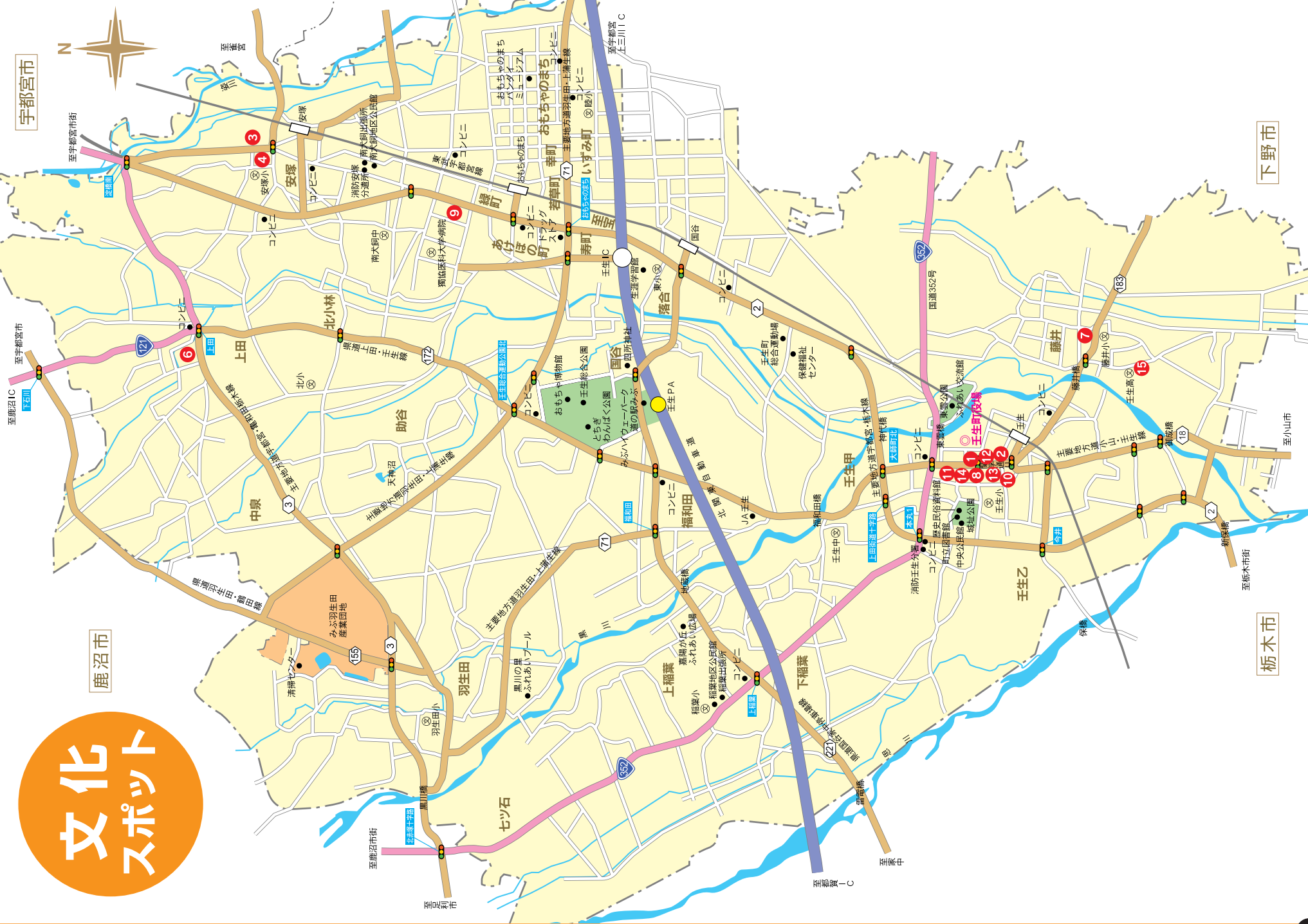


# 文化

## 歩いてみてよ こんなところ!



# 文化 スポット





1

## 自 成 館



木の温もりが  
とってもやさしい

壬生町役場の前の小さな美術館の様な建物の中には町からのお知らせ・書・絵画・工芸品などが展示されています。さらに無料で絵画等を展示でき、自己実現が出来て夢が叶う場所です。近代的なトイレも設置されており疲れたら休憩も出来る場所です。



2

## 松 本 家



3

## 佐 藤 家



栃木街道の安塚沿いに内科医院・住居に続いて門が建っています。門の建築は水戸藩の宮大工が関わったと記録されたものが修復時に発見されています。門からは見えませんが仏間の戸棚の両脇に戊辰戦争時の刀傷が残されていたそうです。当時の激しい戦いの一部始終を門は見えています。

4

## 島 田 家



栃木街道の安塚沿いに長屋門が両足で堂々と立ち威厳を保っています。戊辰戦争時には鉄砲の弾を防いだ跡が残っていたそうです。逞しく男性的にみえます。佐藤家と近く戊辰戦争の激しさが伝わってきます。

蘭学通りの中心部に内科医院を開業しています。表門の彫刻・姿・造りの美しさにしばしば見とれてしまいます。門からは手入れの行き届いた庭園と白い土蔵3棟の文庫蔵・穀蔵・居住蔵が見え、また屋敷を囲む塀は源氏物語の撮影にも採用されています。これらは明治40年頃に日光東照宮の職人によって完成しているそうです。平成3年に神棚「大神宮」が壬生町文化財に指定されています。時代を超えて素晴らしい芸術・工芸品を目の前にすると幸せな気分になります。蘭学祭りには一部一般公開されています。

6

## 大 垣 家



上田の交差点を中泉方面に入ると右側の奥まった道路沿いに平安朝の建物の様な長屋門が見えてきました。うっかりすると見過ごしてしまいそう。修復された門の前で犬がワンワンと吠えてご主人を守っているのは昔も同じ光景なのかと古き良き時代に近づいた感じがします。長屋門には他には見られない金箔が使われています。

7

## 篠 原 家



当時を偲ぶ  
時間が流れる

壬生駅から藤井に行くと前坪・宿坪の看板の横に竹林と長い黒の板塀が続いている家があります。塀の続きに門はありませんが染物屋を営んでいた蔵は残っており母屋は住居として生活の場として使われています。前を通ると中を覗いてみたくなる場所です。

8

## 石 崎 家



蘭学通りに位置し風格ある長屋門から見ると建物と、松の木が額縁に収められた一枚の絵のように映って見えます。他の長屋門と異なり両脇はお店が並び営業が行われています。また、代々壬生藩の御典医として仕えていました。解剖書・医療器材が丁寧に保管されているそうです。長屋門から駕籠に乗りお城に向かう様子を想像するとゆったりと心癒されます。平成3年に長屋門・母屋・土蔵は壬生町の文化財指定を受けています。

9

ドクターヘリとヘリポート  
独協医科大学

医療充実の町壬生は人口1万人に対する医師数全国4位。県内を5～20分以内でドクター・ナース・スタッフ(6名)で救助に向かいます。また、近県とも協力しあい、まさに命をつなぐ翼となっています。隣接して患者さんのためにお散歩コースもあります。

10

## 小 田 垣 家



壬生交番の前に一際高く凛としてそびえ建つ門が立っています。壬生町の門を所有している多くの家とは門飾りが異なる図柄です。お城の門を想像させる門構えです。また門の上から飛び出ている蔵や樹木を見るときかなりの年輪を刻んでいると思われれます。ここはぜひ門を開けて入ってみたい場所です。

11

## 大 場 家



しのめ  
東雲橋を渡り蘭学通りに入ると右手に古い門構えの家が見えます。表門・母屋の屋根の軒瓦の丸い部分に大場家の印と思われる大の字が刻まれているのが他の軒瓦とは異なっていました。





12

人見家



蘭学通りにあり松本家の隣に位置しています。物静かな情感が漂う、佇まいに古き良き時代に思いをさせることが出来ます。

14

早瀬家



蘭学通りにある木村医院と道路を隔てて並び少し高く見え威厳を保ち堂々と見えます。側道に面した部分は一段と高い植込みがあり日よけや火災時に火を払う防火対策として重要な役割をはたすために植えられたそうです。

13

市川家



蘭学通りにあり足利銀行の隣に位置しています。現在は英語学習塾を営んでいます。

15

干瓢



かんぴょう 干瓢伝来以降頑なに守り作付けし、拘りの干瓢剥き、干しています。



癖がなく、好みの味で旨くなります。干瓢料理は簡単なんです。

歴史  
知れば知るほど  
好きになる



18



19

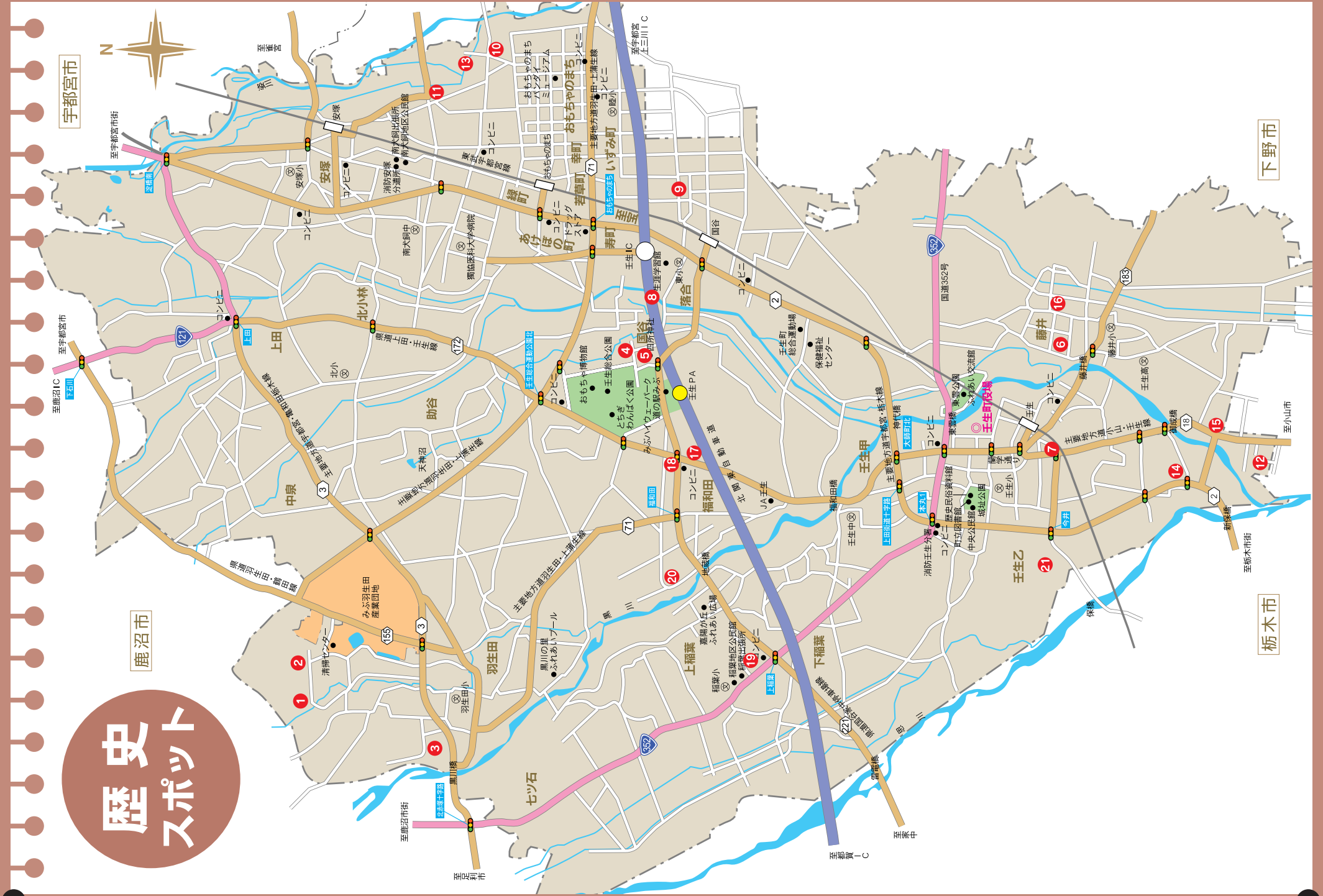
# 歴史 スポット

鹿沼市

宇都宮市

栃木市

下野市





1

## 茶臼山古墳

行くのに  
くじける古墳って  
なに？

2

## 富士山古墳



①、②ともに車を駐車する場所がなく、木が茂っていて丘の頂上部にあるため見つけづらく、案内板も木陰にあるので、行くのにくじける古墳です。出土した家形はにわで有名な古墳です。

3

## 長塚古墳



道路から優雅な前方後円墳がみられる古墳です。

4

## 塚越1号墳



わんぱく公園近く四所神社の境内にある古墳時代後期の方墳です。終末期古墳が多い壬生町では珍品の部類です。2011年に壬生町で初めて鏡（珠文鏡）が出土しました。



5

## 四所神社・太々神楽



大雷命  
(おおいかづちのみこと)  
素戔の鳴命  
(すさのおのみこと)  
倉稻魂命  
(つかのみたまのみこと)  
天児屋根命  
(あめのごやのみこと)



少なくとも1000年は続いている（中断もあったが）春、秋に奉納される太々神楽です。小さい時からの楽しみの一つでした。

6

## 藤井古墳群

壬生町の美しい農村風景の中に歴史を背負ってその存在感を見せています。四季の移り変わりの中で古墳の存在が見られる、超おすすめのスポットです。円墳であぜ道ととり、古墳の上まで行けます。

悠久の歴史が  
たっぷり  
つまっています。

7

## 壬生道路の元標



府県道宇都宮前橋線と小山壬生線の分岐点。大正8年ごろに現在の位置に設置され道路工事改修にかかわらず、そのまま残存していることは貴重です。

花こう岩製の風格ある石碑は、東武線の踏切を見守り、いにしへの東武線のS.L.が走っていた頃の歴史も見てきました。



8

## 国谷土地改良の碑



昭和61年から平成7年まで行われた国谷地区土地改良事業の完工にあたって、当該区域の農業者の農耕文化の歴史に対する想い、「恵川」の氾濫を克服したよるごびを、切々と訴えた碑文は一見に値します。

9

## 壬生開拓団の碑



自由と平和を求め、言語に絶する苦難を乗り越え、無から有を拓いた生きざまを、後世に伝える為に建立した、戦後史に残る貴重なもので、法人化登記をして保存しています。開拓記念祭、文化祭などを六美地区全体の年中行事として盛大に執り行っています。

10

## 子育て地蔵尊



子育て地蔵が2体あって（親子と思われる）地蔵尊には十数枚のよだれかけがかけられていました。一番下にかけられていたのが昭和54年の物でした。



## 11 イボ地蔵



2体の地蔵尊があります。「イボ」地蔵尊と言われています。

## 12 藤葉村跡



小山街道の西の林の中に小高い塚と祠が残っています。土地の者が「ふじっば」と呼ぶこの辺一帯には、昔(下野国都賀郡)藤葉村がありましたが、火災で全村焼失したといわれています。この村に元禄15年、神道無念流の創始者、福井兵右衛門嘉平という剣豪が生まれています。尚、幕末には神道無念流からは、桂小五郎、高杉晋作、伊藤俊介らが育っています。

## 13 安塚(上長田)古墳の跡地 磐裂根裂神社



昔の古墳の跡地に磐裂根裂神社があり、4月と11月に上長田地域の人たちがお祭りを実施しています。明治6年ごろ古墳跡地に神社を建て、地域で守っています。

24

## 14 明治天皇御野立之所

思川と黒川が合流する川原一帯を見下ろす土手にこの碑があります。明治40年に行われた陸軍特別大演習で明治天皇が大演習を総裁された所です。尚、その日の石橋からの馬車道は学生の列で埋まり、下河岸から花見が丘までの街道は10万人で埋め尽くされたと新聞が報じています。



## 15 壬生小山旧街道



江戸時代の初めに一里塚が作られたとき壬生～小山街道の両側には杉と松が植えられました。昭和30年頃までは暗いほどの杉並木が見られましたが、今はその一部が保存され当時を偲ばせています。

## 16 十九夜地蔵



8体の地蔵尊があり、向かって左が十九夜様の地蔵、左から2番目の子育て地蔵、3番目は立地蔵(わからない)4番目は「見まい、聞くまい、話すまい」の地蔵が刻まれています。計8体のお地蔵様があり、その中にイボ地蔵もあるようです。



## 17 庚申様



北関東自動車道が出来たため、移転して前にあった近くにあります。松の木の下に安置されています。

## 18 子育て地蔵、十九夜様、六地蔵



小屋の中に5つの石碑があります。高山千代氏が管理しています。

## 19 金売吉次の観音堂



金売吉次の墓の近くに小さな小屋で保護されたお堂があります。吉次の守護神の観音様を祀ったお堂で、墓と共に里人たちにより建てられた当時のものとされています。

## 20 根裂神社に並ぶ石の碑 福利田



日清戦争、また日露戦争の徴馬記念碑、千日供養塔(千日雨が降らなかった時の雨乞いの為) 庚申塔(交通安全)等。ずらりと12基行儀よく並列しています。祈願の種類が同じでないのが興味あります。

## 21 昔の黒川の岸と思われる段差



表町から下稲葉に渡り南北に2Km程も連なる3～5mの段差があります。江戸時代初期まで黒川は城の西側を流れていたと言う説がありますが、とするとこれは当時の黒川の川岸ではないのでしょうか？



25

## おわりに

私たち第4期壬力UPプロジェクト住民会議は、平成23・24年度の2か年間にわたりさまざまな活動を行ってきました。ふるさと壬生町の「魅力＝壬力」をアップし、多くの人がより楽しくより幸せに暮らせるまちづくりをめざして活動してきました。

こんな想いを大切にしながら、壬生町民だからこそ知っている楽しいポイント、興味あふれるポイントをメンバーみんなで出し合い、みんなの意見を聞き、より楽しく、興味深く皆さんにご紹介できるものを検討しました。

最初は、既によく知られている場所や、提案理由がはっきりしないものなどの提案もありました。でも、ポイントの選定基準を考えようとか、写真による紹介と考えていたことが、会員が書いた「絵画」を使ってみようとか、紹介文章も専門家の意見を聞いてよりしっかりしたものにしようとか、……。いろんな意見を出し合いながら、みんなの合意のもとにこの冊子ができあがりました。

私たちは、今回の活動を経て、知識や経験、感性が違う人々が集まり、自分と違う意見を出し合い、お互いに認め合いながら活動していくことが、まちづくりにとって大切であることがよくわかりました。

このような経緯でできた冊子です。この冊子が「壬力UPまちづくり＝協働のまちづくり」のいろんな場面で活用されることを望んでいます。

平成25年3月

第4期壬力UPプロジェクト住民会議メンバー同



### ■第4期壬力UPプロジェクト住民会議について

第4期壬力UPプロジェクト住民会議は、壬生町が町の第5次総合振興計画を「協働のまちづくり」の考え方に基づいて推進するために、設置した住民会議です。全員が町の考えに賛同し、町の公募に応募してできた住民会議です。

平成23年度には、「壬力UP協働のまちづくり指針」として、住民と行政、企業や学校が互いに手を取りあってまちづくりを進める考え方をとりまとめました。

平成24年度は、2ヶ月に1回、夜間に集まり、自らの経験や思いをまちづくりに生かす具体的な作業を進め、その活動の最終成果として本冊子を作成しました。



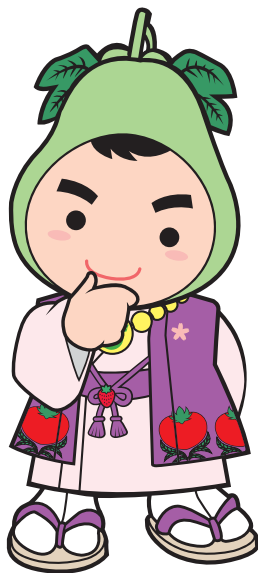
「協働のまちづくり指針」提案式 平成24年3月19日

### 第4期壬力UPプロジェクト住民会議メンバー

|       |        |        |        |
|-------|--------|--------|--------|
| 安納 俊夫 | 内保 英子  | 興野 喜宣  | 前原 圭子  |
| 石川 茂  | 大垣 延子  | 柴崎 享子  | 梁島 ケイ子 |
| 泉 嘉郎  | 大久保 正子 | 鈴木 一市郎 | 山川 勝三  |
| 伊藤 栄治 | 大栗 正徳  | 堀口 路子  | 横田 妙子  |

古いものと新しい文化に関心を持ち  
守っていくことが町の発展につながる……

そんなことを考えながら  
歩いてみませんか？



壬生町デマンドタクシーキャラクター みぶまる

壬力UPプロジェクト住民会議